

\*共に学ぶ児童生徒の組み合わせによって、出力する表を使い分けること。

# 通常の学級の児童、特別支援学級の知的障害児童が共に学ぶ場合には、以下の表を用いること。

#### 5. 単元の目標

観点	通常の学級の児童	特別支援学級の児童
知識及び技能		
思考力、判断力、表現力等		
学びに向かう力、人間性等		

#### 6. 評価規準

観点	通常の学級の児童	特別支援学級の児童
知識・技能	①	④
思考・判断・表現	②	⑤
主体的に学習に取り組む態度	③	⑥

\*評価規準の番号は、評価項目に応じて増減させること。

#### 7. 単元計画

時間	学習活動と内容（通常の学級）	学習活動と内容（特別支援学級）	一単位時間ごとの活動と共通の目的とのつながり	その他特性をもつ児童生徒への支援・配慮	評価

\*行数は、単元の時数により増減させること。

\*その他特性とは、例えば、LD、協働が苦手、発表が苦手、弱視 等のような特性のことである。

# 特別支援学校で1段階、2段階、3段階の児童が共に学ぶ場合には、以下の表を用いること。

#### 5. 単元の目標

観点	3段階	2段階	1段階
知識及び技能			
思考力、判断力、表現力等			
学びに向かう力、人間性等			

#### 6. 評価規準

観点	3段階	2段階	1段階
知識・技能	①	④	⑦
思考・判断・表現	②	⑤	⑧
主体的に学習に取り組む態度	③	⑥	⑨

\*評価規準の番号は、評価項目に応じて増減させること。

7. 単元計画

時間	学習活動と内容 (3段階)	学習活動 と 内容 ( 2 段 階)	学習活動と 内容 (1 段 階)	一単位時間ご との活動と共 通の目的との つながり	その他特性をも つ児童生徒への 支援・配慮	評価

\*行数は、単元の時数により増減させること。

\*その他特性とは、例えば、LD、協働が苦手、発表が苦手、弱視 等のような特性のことである。